

2021年8月31日

株式会社豆蔵

豆蔵、対話型 AI エンジン『MZbot』の他システム連携機能を大幅強化、

2021 年 9 月より正式提供を開始

～ システム連携をノーコード・ローコードで実現し、企業の DX を加速 ～

株式会社豆蔵デジタルホールディングスの事業会社である、株式会社豆蔵(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：中原 徹也、以下 豆蔵)は、自社開発した対話型 AI エンジン『MZbot』について、ユーザ企業の DX 加速に向けてノーコード・ローコード開発に対応した「Microsoft Excel」による REST-API 連携機能を搭載し、2021 年 9 月より正式提供を開始致します。また、本機能の提供に伴い OEM ライセンスの提供も開始致します。

◆ 概要説明

MZbot の今回の機能強化では、「Microsoft Excel」で REST-API の定義情報を登録するだけで、他システム連携を実現する機能を追加しました(図 1)。これまでも、オプション機能の「拡張ルールベース機能」において、Java 言語で実装した拡張プラグインや、他の開発言語で実装した外部プログラムを登録することで各種クラウド API との連携が可能でしたが、本機能により、プログラミング等の専門的な知識が無くても様々なシステムと簡単に連携することが可能となります。

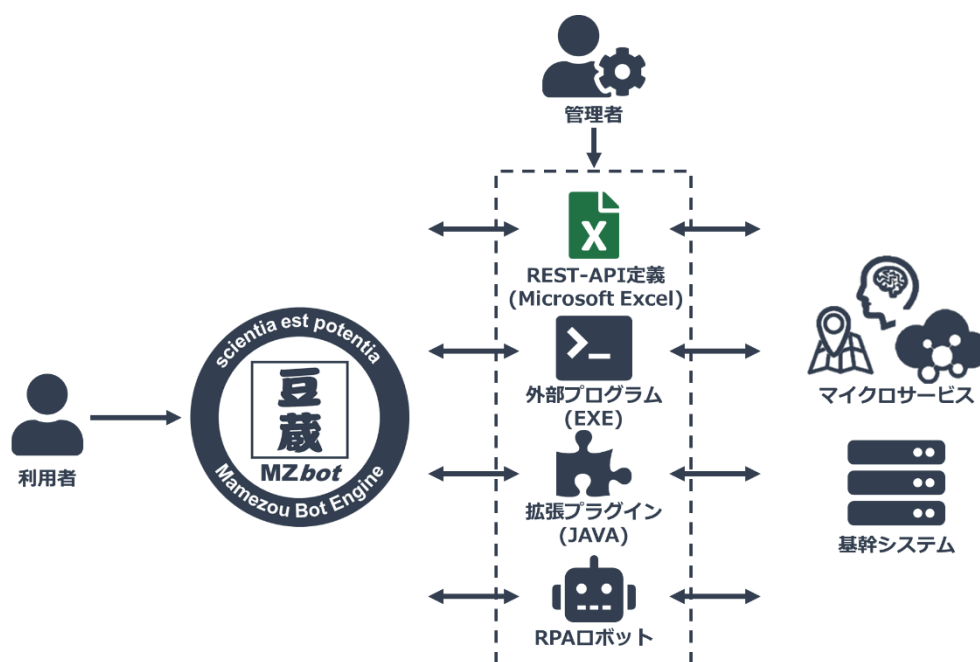


図 1. MZbot 他システム連携機能のイメージ

◆ Microsoft Excel のみでシステム連携を設定可能。プログラミング等の専門的な知識は不要

ユーザ企業の管理者が「Microsoft Excel」を使用して REST-API 定義情報と対話シナリオを MZbot に登録することで、利用者はチャット画面を通じて、対話的に他システムからの処理結果を出力することが出来ます(図2)。対話シナリオはスケジュール実行機能により、スケジュールによる定時刻にバッチ処理も可能です。

また、Excel シート上で対象の REST-API のアクセステストの実行も可能となっているほか、「Postman」等の既存の API 開発ツールのコード・スニペット機能で自動生成したコードを Excel シートに転記して、より高度な設定も可能です。

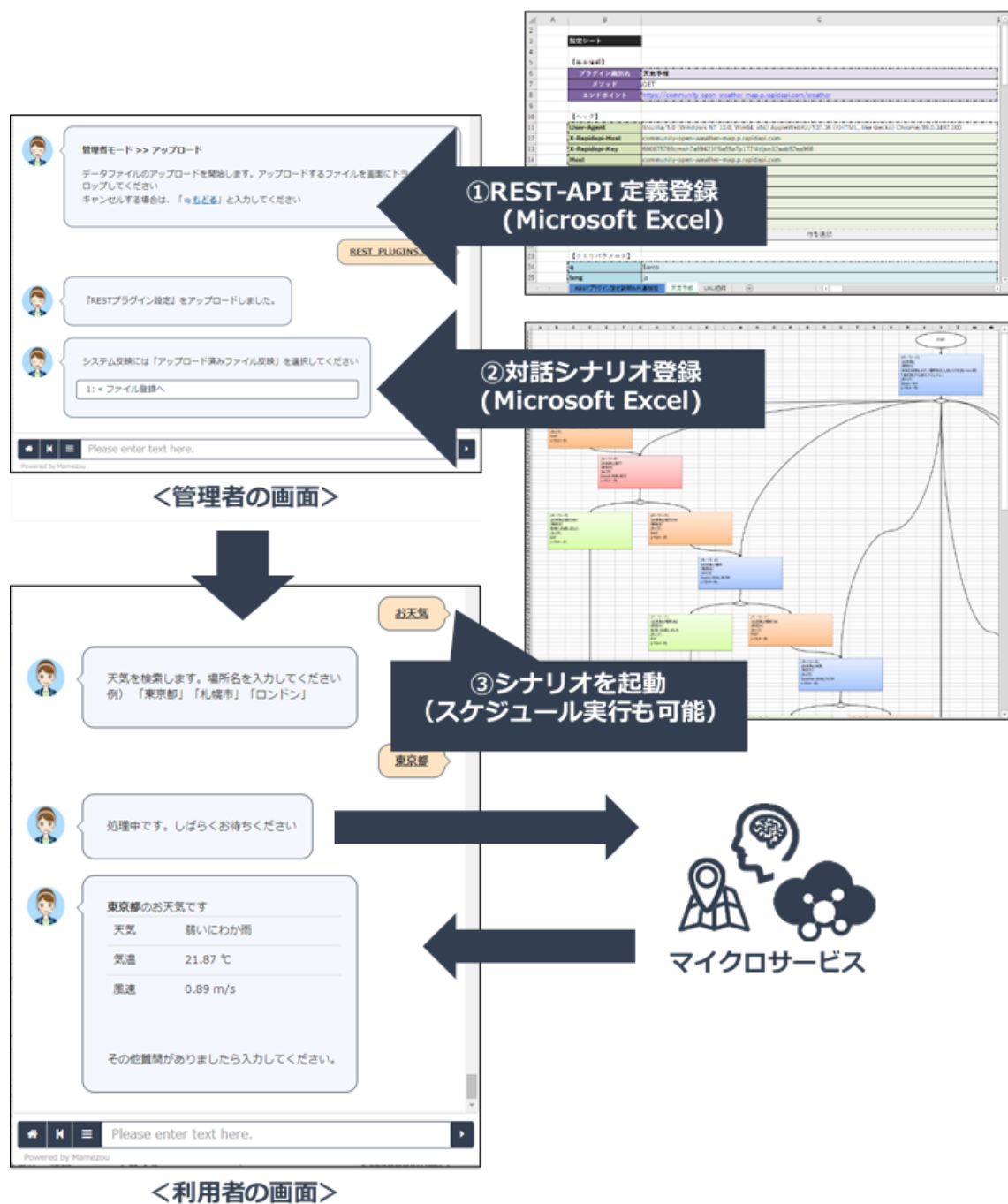


図2. REST-API 連携の設定と実行イメージ

◆ RPA を使ったシステム連携もさらに簡単に

REST-API を公開していないシステムとの連携においては、「WinActor」「UiPath」等の RPA ツールを呼び出すことで連携可能です。ユーザ企業の管理者が RPA ツールを使用して作成した RPA ロボットと対話シナリオを MZbot に登録することで、MZbot の利用者はチャット画面を通じて、対話的に他システムの処理結果を閲覧することが出来ます(図 3)。尚、今後も各種 RPA ツールとの連携強化も随時行っていく予定です。

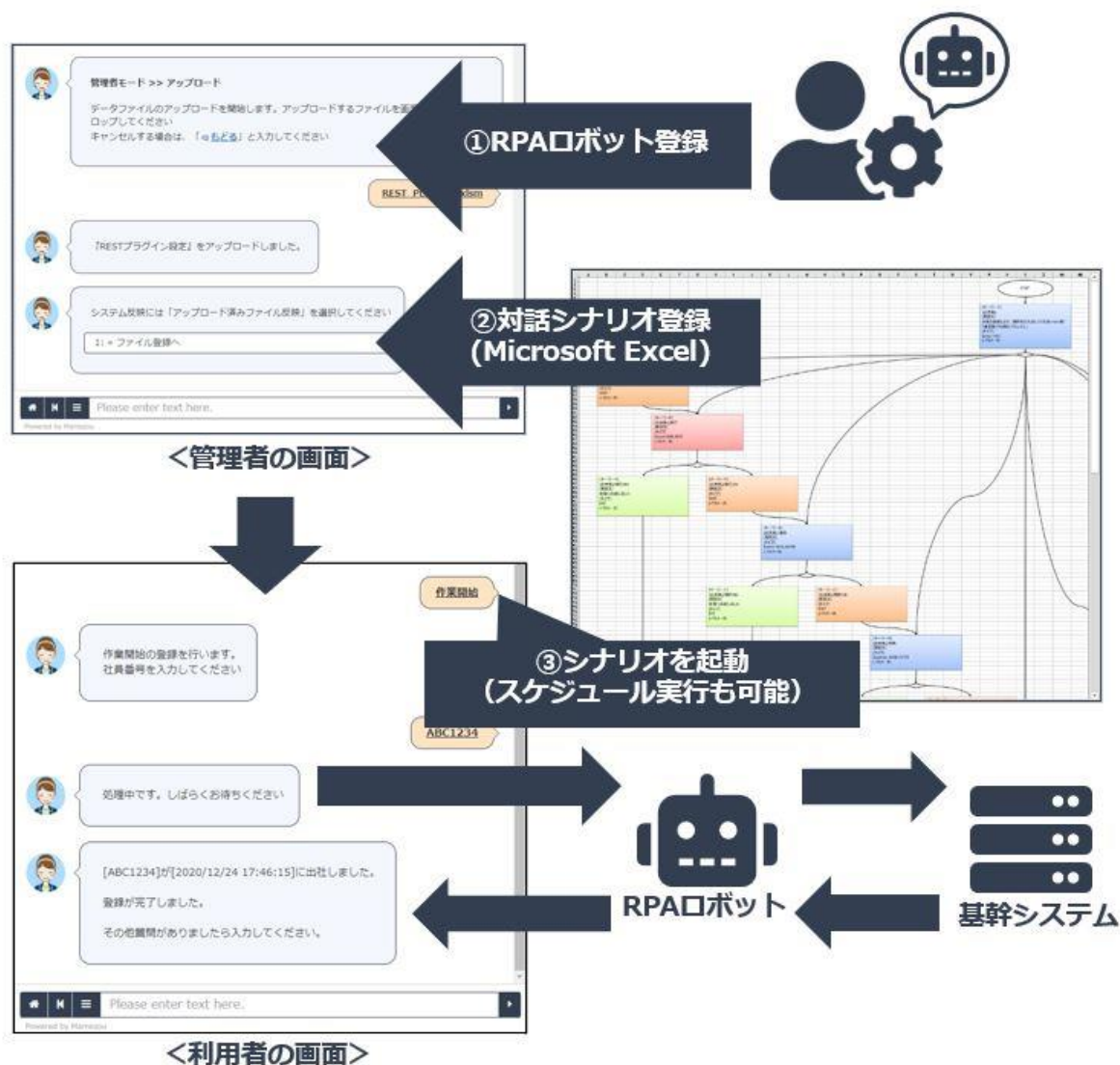


図 3. RPA 連携の設定と実行イメージ

◆ 機能強化の背景とシステム仮想統合の推進

DX 時代において、企業が継続的に成長するにはスピードと柔軟性が求められ、システム統合により既存データ資産活用の幅を広げることが必須となります。

しかしながら、従来型のデータ統合では、時間とコストがかかるためデータ統合がうまく進まず、ビジネスの変化に伴うシステムの更改に追従することができなくなってしまう、あきらめてしまうようなケースは決して少なくありません。

そのため、当社では、本機能を活用し、「チャット UI(対話型 UI)」を使用してシステムを仮想的に統合し、システム間の連携

を疎結合化することで、このような問題を解消し、企業の DX 化を大幅に加速することを狙います(図 4)。

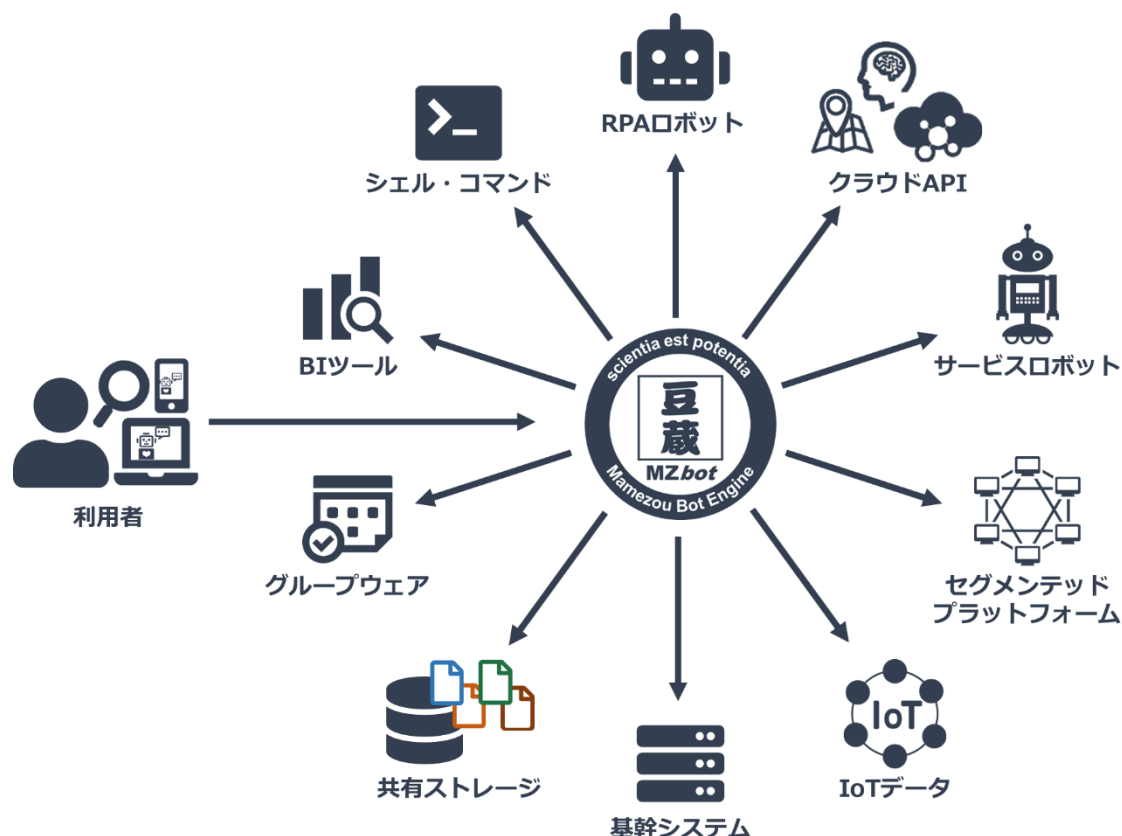


図 4. システムの仮想統合イメージ

■ 動作環境

- ・Windows (64bitOS)
- ・Linux Ubuntu 16.04 LTS 以降 (64bitOS、LTS 版)

※MZbot の動作環境と同一となります。旧バージョンをご利用の方は最新版へのバージョンアップが必須となります
※掲載画像は全てイメージです。掲載内容は発表時の内容であり、改良のために予告なく変更する場合があります

■ 標準価格

[オプションライセンス費用(税込)]

拡張ルールベース機能: 88 万円

RPA 連携機能: 44 万円

※別途 MZbot のご導入が前提となります。これらの拡張機能単体での販売予定はございません

[構築支援作業費用(税込)]

RPA 連携機能: 22 万円

※1 環境あたりの作業費用となります。構築支援が不要な場合、本費用は発生致しません

■ OEM ライセンスのご提供

今回の他システム連携機能強化により、対話型 AI エンジン『MZbot』を活用して様々なシステム製品やシステムサービス (SaaS 等) に、自動問合せ対応機能や操作ガイド機能をシステムのカスタマイズ開発なしで簡単に搭載することが可能です。自社でシステム製品やシステムサービスを開発して提供されているソフトウェアメーカー様、SIer 様、販売代理店様向けに、

「OEM ライセンス」のご提供を開始させていただいております。

パートナー契約を締結いただき、本 OEM ライセンスを適用することで、対話型 AI エンジン『MZbot』を自社製品や自社サービスに自社ブランドとしてバンドル販売することが可能となります(図5)。

また、自社製品や自社サービスの仕様に合わせた個別カスタマイズ開発やサポート対応等のご相談も承ります。

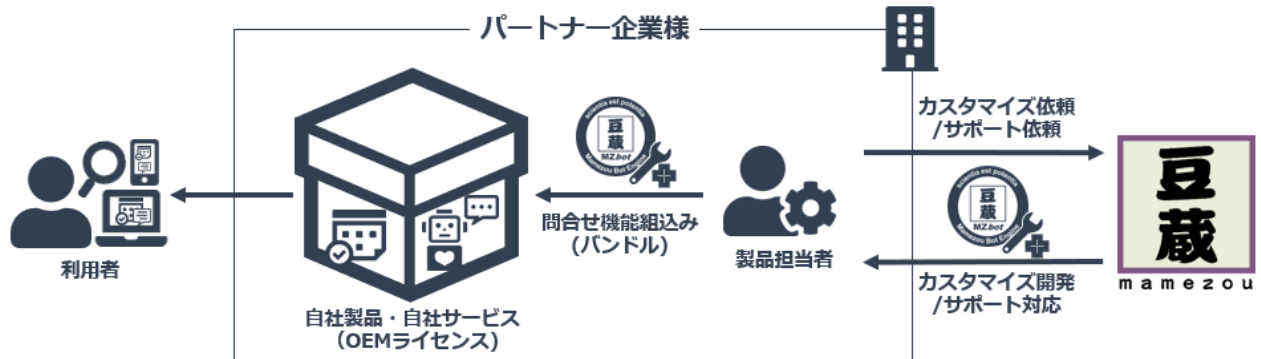


図5. 自社製品・自社サービス販売 (OEM) のイメージ

OEM ライセンスの価格体系については MZbot 製品サイトをご覧ください

<https://www.mzbot.jp/partners>

■ MZbot 製品サイト

MZbot に関する詳細については製品サイトをご覧ください

<https://www.mzbot.jp>

■ 商標・特許について

- MZbot は株式会社豆蔵の日本における登録商標です
- Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です
- 「WinActor」「UiPath」「Postman」、その他記載されているサービス名、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です

【株式会社豆蔵 概要】

所在地 : 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング34階

設立 : 2006年10月 (2000年5月より事業開始)

代表者 : 代表取締役社長 中原 徹也

資本金 : 3億1,000万円

株主 : 株式会社豆蔵デジタルホールディングス 100%

URL : <https://www.mamezou.com/>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社豆蔵 営業本部 第四営業部

TEL : 03-5339-2114

URL : <https://www.mzbot.jp/contact>

MAIL : mzbot-contact@mamezou.com